

みんなあでつながる！ひろげる！地域のチカラ

プラットふくし

こ うち

高知県社会福祉協議会広報誌



巻頭特集

働きやすい 福祉職場づくり 6つの メソッド

2022
4月号

vol.3

contents

ボランティア・NPO情報 てをつなGO！	6
福祉がつなく未来へのネットワーク	
シニアのちょっといい話	8
里改田長寿会 高知県弓道連盟	
プラットこうち人 岡田光輝さん	10
高知県社協からのお知らせ	11
市町村社会福祉協議会ご紹介	12
香南市社会福祉協議会	

さまざまな業界で「人材不足」が叫ばれている昨今。

より良い福祉サービスと快適な職場づくりを実現していくために求められる

「働きやすい職場」づくりの6つのメソッド(方法)をご紹介します!

「福祉の仕事」は、人と人とが関わりながら、その人のより良い暮らしを支えていく、私たちの生活にとって必要不可欠な仕事です。

エッセンシャルワーカー(社会機能維持者)とよばれる福祉人材の必要性は増す一方ですが、全国的に進む労働力人口の減少で「人材不足」は深刻化しており、福祉人材の確保は今後ますます困難になっていくことが予測されています。

言うまでもなく、質の高い福祉サービスを維持するためには、人材確保がきわめて重要であり、

そのためにも、労働者から「選ばれる」職場を作ることが重要です。

今回の特集では、施設や事業所で「働きやすい職場」をつかっていくための6つの方法をご紹介します!!



ひとりひとりの実力をパワーアップ! 研修制度

メソッド

施設・事業所は、職員一人ひとりが成長し対応力を向上していくために、業務に必要な知識や技術の習得を目指し、職員教育・研修(OJT、Off-JT)に取り組んでいます。

また、職員の資質向上のための「キャリアアップの仕組み」を構築して取り組んでいる施設・事業所は多くなっています。

これは、キャリアアップを求める職員はもとより、施設・事業所にとっても人材育成の点からも重要であり、職員の早期離職の防止、職場への定着につながっています。



県内の先進事例

職員ひとりひとりの できることを 増やしていくために

多機能事業所
ウィッシュかがみの(南国市)



「現場で現場の人を育てていくこと」をポリシーに、職員の育成に取り組んでいるのが、ウィッシュかがみの(南国市)。

職員の方々には、利用者との関わりの中で発生したあらゆる事象を通じ、「なぜ、こうなったか」「どうしたことなのか」といった原因や理由を自分で考えることができるよう、あえて職員に問いかけを重ね、良い支援ができた時には職員をしっかりとはめて、職員ができること・分かることを増やしていくようにしているとか。

職員一人一人が自分自身で「できること」「分かること」が増えていくと、自分で判断ができるようになります。毎日夕方の

職員ミーティングでは、この場を通して相互に支援を振り返り、よりよい支援を導き出すように問いかけをしあい、一緒になって考えていきます。

職員育成のポイントは「リーダーづくり」とのこと。リーダーが職員と一緒に汗を流して、OJTで育てていく。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」という山本五十六の名言を実践しながら、育った職員が次の職員を育てるという好循環が生まれているのです。

